

授業科目	＊ 初年次セミナー I					単位	1		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	WE10201J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1				
担当教員	木村 茂喜、杉谷 修一、杉本 有紗、金谷 めぐみ、水貝 洵子、木村 政伸								
授業概要	大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探究していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーI および II で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。初年次セミナーI では、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。 ※第 3 回～第 14 回では、学生を 5 つのグループ(後期の初年次セミナーII と共通)に分け、1 人の教員が 4 回ずつ、合計 3 名の教員が担当する。また、第 3 回～第 6 回、第 7 回～第 10 回、第 11 回～第 14 回の授業計画はあくまで例であり、テーマ・講義内容、授業の運営方法、学習課題は各担当教員によって異なる。詳細については、第 2 回で各担当教員から説明する。								
学生が達成すべき行動目標	1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べるすることができる。(DP3-1) 4. 課題解決のために、探究する姿勢を身につけることができる。(DP4-1) 5. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1)								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	30	30	25	15	100		
知識・理解 (DP1-1)			30	10	10		50		
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)				10	10	10	30		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度(DP4-1)				10	5	5	20		
態度(DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、自らが積極的に課題を探究し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。				大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、他者と共同学ぶ姿勢がみられる。					

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 大学での学びとは(木村政伸) ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは	合同講義	特になし	0
2	テーマ: ガイダンス(福祉学科担当全教員・図書館職員) 初年次セミナーⅠの進め方について、各担当教員が説明し、図書館の紹介と文献・資料の扱い方について解説し、夏休み課題レポートについて説明する。	学科合同講義	特になし	0
3	テーマ: 文章の構成について学ぶ(担当教員1) 文章の基本的な構成方法(三段構成や四段構成)について学習したうえで、文章を読み要約する。	演習	文章の構成方法に則ってエッセイを書く。	30
4	テーマ: 多角的な視点からものごとを考える(担当教員1) ひとつのテーマについて、多くの考えやアイデアを生成するブレインストーミングに取り組む。	演習	文章を読んだ感想をブレインストーミングして書き出す。	15
5	テーマ: 批判的に思考する(担当教員1) 自分の考えや意見に対し、反対の立場から批判を考え、自分の考えを吟味する。	演習	特になし	0
6	テーマ: レポートを書こう(担当教員1) レポートを書くうえでの文章上の注意点について解説する。これまで授業で作成した文章を見直し、注意点について理解する。	演習	これまでの学習内容を踏まえてレポートを書く。	60
7	テーマ: 社会生活と法(1)法の存在意義について(担当教員2) 社会における法の役割について考える。	演習	具体的な法制度について調べる。	60
8	テーマ: 社会生活と法(2)法に関する文書を読む(担当教員2) 最近問題になっている、法に関する文章を読み、その要点を要約する。	演習	文章の要約	120
9	テーマ: 社会生活と法(3)思考マップ・アウトライン作成(担当教員2) 前回要約したものについて、わからない語句や疑問に思った点について調べ、疑問を感じた点についての思考マップ・アウトラインを作成する。	演習	思考マップ・アウトライン作成	60
10	テーマ: 社会生活と法(4)法に関する文章を書く(担当教員2) 思考マップ・アウトラインをもとに、レポートの構成を考える。	演習	レポート作成	60
11	テーマ: ブックレポートを書く(1)対象への関心を高める(担当教員3) ・対象のイメージアップを図る。 ・テキスト批評を学ぶ。	演習	感想文の作成(手書き)	60
12	テーマ: ブックレポートを書く(2)文献を利用する(担当教員3) 指定する学問領域の専門書を分析し、紹介する。	演習	「議論」の作成(手書き)	120
13	テーマ: ブックレポートを書く(3)意見と根拠を述べる(担当教員3) レポートの各部分を振り返り、レポートを全体としてまとめる。	演習	「目的の提示」「まとめ」を入れ、テキスト批評レポートを作成(PC)	120

14	テーマ:ブックレポートを書く(4)まとめる・評価する(担当教員 3) ・自分のレポートを読む。 ・自分のレポートにコメントする。 ・振り返り	演習	特になし	0
15	テーマ:初年次セミナーⅠのまとめ(福祉学科全担当教員) 初年次セミナーⅠの内容について振り返るとともに、夏休み課題レポートについて説明する。	学科合同講義	特になし	0
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし。			
テキスト	特に定めない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	テーマに即した文献・資料について、担当各教員より紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で関心のあったテーマについては、積極的に図書館やインターネットを利用するなどして知識を深める。各自の積極的な参加を期待している。 初年次セミナーⅠでの学習内容の到達度を確認するため、夏季休業期間中に各自レポートを執筆し、提出すること。レポートのテーマ、書式、提出期限など、詳細については、第15回で説明する。なお、このレポートは初年次セミナーⅡの成績評価に加える。			

達成度評価に関するコメント	達成度評価の指標と評価割合については、担当教員によって多少異なることがある。もし、疑義があるときは、各担当教員に問い合わせること。
---------------	---